

# 7月 りんりんだより



鈴鹿市子育て支援センターりんりん

〒510-0261 鈴鹿市御園町4135-124

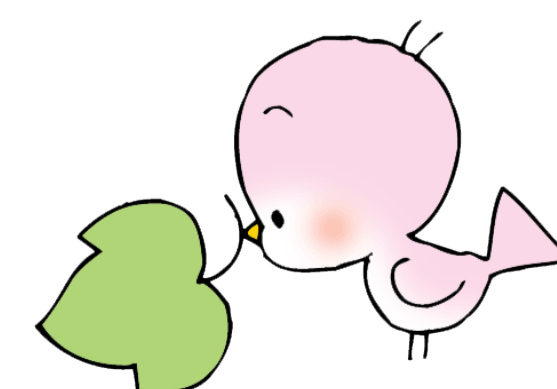
電話・Fax 372-3303 相談電話 372-3338

メールアドレス [rinrin@city.suzuka.lg.jp](mailto:rinrin@city.suzuka.lg.jp)

蒸し暑い日が続いていますが、体調など崩していませんか？  
食事や睡眠をしっかりとり、水分補給もこまめにしましょう。  
梅雨明けにはどろんこや水あそび等など全身をつかってダイナミックに遊ばせてあげたいですね。

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
休館日	お父さんも遊ぼうデー申込日 (受付時間) 9:30~16:00 (8/3<土>市内在住の 0歳~6歳<就学前>の子と父) 「忍者になろう」	身長体重測定 10:00~11:00 *上記の時間内に 実施しています。  当日受付	身長体重測定 10:00~11:00 *上記の時間内に 実施しています。 赤ちゃん広場 13:00~14:30 会議室 (6/25,26に参加できなかった 市内在住0か月~11か月までの 子と保護者) 当日受付	小児科医による育児相談 13:20~14:15 会議室 要予約	お父さんも遊ぼうデー 10:00~11:00 会議室 (0歳から6歳<就学前>まで の市内・市外の父と子) 当日受付	休館日
8	9	10	11	12	13	14
休館日	休館日	りんりん祭り ~子育て応援フェスタ~ 午前の部 10:00~12:00 午後の部 13:00~15:00 要予約	1歳広場 10:00~11:00 『運動遊び』と7月誕生会など 当日受付	さくらんぼ(多胎児)広場 10:00~11:00 会議室 (市内在住多胎児を妊娠中の方、 市内在住の多胎児と保護者) 当日受付	休館日	休館日
15	16	17	18	19	20	21
海の日 休館日	2歳以上広場 10:00~11:30 手遊び、ふれあい遊び 7月誕生会など 要予約		2歳以上広場申込日 (受付時間) 9:30~16:00 (8/20<火>市内在住の2歳以上 の子と保護者) 「夏祭りごっこ」、8月誕生会、 など			休館日
22	23	24	25	26	27	28
休館日	赤ちゃん広場 10:00~11:30 (市内在住の3か月~ 11か月の子と保護者) 当日受付	赤ちゃん広場 10:00~11:30 (市内在住の0か月~ 7か月の子と保護者) 当日受付 初めてのマタニティ広場 10:00~11:30 要予約	牛乳パックでアイス作り 10:00~11:00 会議室 要予約		初めてのマタニティ広場 (沐浴教室・ ベビーマッサージ体験) 10:00~11:30 14:00~15:30 各3組 要予約	休館日
29	30	31	一般開放期間(マークの見方) 9:30~16:30 12:30~16:30(午前中は貸切り行事です。一般開放は12時30分からです。) *予約の行事は、市内在住の方対象です。 *申込の必要な行事は、受付時間(9:30~16:00)内に電話(FAX)又は直接お申込みください。 *「身長体重測定」「作って遊ぼう」は、市外の方も参加できます。			

こちらの表は鈴鹿市のホームページから閲覧できます。  
鈴鹿市のホームページ→『子育て・教育』→『子育て支援センター』→『りんりん』からご覧いただけます。  
また、『子育て応援サイトきら鈴』でも行事が確認できます。



## 砂遊び(泥んこ遊び)・水遊びのお知らせ

7/18(木)から、泥んこ遊び・噴水・水鉄砲コーナーなどを  
屋外に設定します。タオルや着替えが必要な方は、準備してきてね。  
(天候や貸切日など、都合により中止の日もあります。)  
水遊びコーナー 10:00~11:00 (火曜日~金曜日)



## お願い

7月中旬より夏休みが始まります。皆様に安全・安心にご利用していただくため、保育所や幼稚園に就園されているお子様は、なるべく午後に利用していただきますようご理解ご協力をお願いします。



7月10日(水)は、りんりん祭りのため、終日貸切りです。  
一般開放はありません。

## 8月お父さんも遊ぼうデーのお知らせ

日時:8月3日(土) 10:00~11:30  
場所:会議室  
対象:市内在住のお父さんと子(0歳から就学前までの方)  
\*一緒に家族の方も参加していただけます。  
内容:忍者になろう!  
予約受付は、7月2日(火)9:30から開始  
(申込み受付時間 9:30~16:00)



## ~子育てポイント~ 「手づかみ食べも大事な成長」

7か月前後になると食べ物に手をのばし、つかんだ物を口に運ぼうとし始めます。

このころの手づかみの体験が、「自分で食べたい」意欲を育てます。  
持った物の感触からその重さや軟らかさをはかり、力の入れ具合を調節したり、手のひら、指の腹、指先の使い分けを学習したり、口への運び方を工夫したりとさまざまな力を獲得します。自分で思うように食べられるほどうれしいことはありません。

たっぷり手づかみした手はスプーンをうまく使える手にもなります。